



うぶやまの風



産山学園HPも随時更新

3つの合い言葉

〈学校教育目標〉 学び**合い** 支え**合い** きたえ**合う** 産山の子ども
 ～「合い」とは仲間との高め**合い**、集団の中での育ち**合い**、教育的**愛情**による導き～

5年生「コイ農法—鯉入れ—」を体験をしました

令和5年6月8日熊本日日新聞社の記事から

義務教育学校の産山学園(産山村)の5年生13人が5日、田植えを終えたばかりの近くの水田にコイ約200匹を放った。コイで害虫や雑草を防ぎ、農薬や化学肥料を使わずにイネを育てる「コイ農法」の学習の一環。27年前からコイ農法で酒米を栽培している高橋孝徳さん(72)の水田を活用。児童たちは高橋さんが管理する池に入り、網や手で体長15cmほどのコイを次々につかまえた。水田では、バケツをゆっくりと傾けて放った。泳ぎ去るコイを見守った石川由来さんは「コイとイネが元気に大きくなってほしい」と話した。コイ農法は、コイが害虫を食べるだけでなく、コイの泳ぎで泥が水中を舞うことで日光が届かなくなり、雑草が生えにくくなる効果が期待できるという。高橋さんの水田では、イネの成長に合わせて約800匹まで増やす。コイは、7月中旬に役目を終え、児童が池に戻す。

最後の写真は、高橋さんと清酒「産山村」です。高橋さんは、焼酎も造っておられます。育てた米で焼酎を造るので、成人式で飲んでほしいと笑顔で子ども達に説明されていました。



教育実習生！頑張っています

本校(産山小時代)に、小学校1年から3年まで通学した学生が教育実習生として研修を受けています。3年生に所属し藤島先生が指導教官です。算数の授業と道徳の授業を参観しました。教材研究も丁寧で、子どもに対する関わり方もあたたかさを感じます。小学校の先生になりたいという強い思いもっている先生です。これからの成長と活躍を期待しているところです。

